

平成 27 年度 中国・四国ブロック事業報告

1. 活動テーマ

「地域における保健師の保健活動に関する指針」に基づいた保健師活動の体制整備と保健活動の推進

2. 目的

- ・ソーシャルキャピタルの醸成が可能な人材育成のあり方について検討し、地域に責任を持った活動を推進する。
- ・各支部との情報交換を行い、相互の連携と支部活動の活性化を図る。

3. 実施状況

回	開催日	場 所	内 容
1	平成 27 年 8 月 29 日 (土) 10:00~12:00	香川県社会福祉 総合センター 香川県高松市番 町 1-10-35	【支部長会】 (1)全国保健師長会理事会報告等 (2)ブロック活動計画について (3)情報交換 ・支部の活動状況と課題について ・保健師指針に基づく体制整備について
2	平成 27 年 8 月 29 日 (土) 13:30~16:00	香川県社会福祉 総合センター 香川県高松市番 町 1-10-35	【研修会】 (1)活動報告「高知県保健師人材育成ガイドライン の見直しについて」 報告者：高知県支部副支部長 渡邊和枝 氏 (2)研究報告「ソーシャルキャピタルの醸成にかか る保健師の能力形成に関する研究」 報告者：大分県高齢者福祉課 吉田知可 氏 (3)グループ討議 (4)助言及びまとめ 「保健師活動指針の基づいた保健師活動の体 制整備と保健活動の推進」 全国保健師長会 常任理事 山野井尚美 氏
3	平成 28 年 2 月 13 日 (土) 10:00~12:00	サンポートホー ル高松	【支部長会】 (1)全国保健師長会代議員総会等報告 (2)H27 年度の支部活動について (3)情報交換 ・効果的な「部署横断的なミーティング」「保健 所と市町村のミーティング」について ・地区担当制について

4. 結果・課題

従来は広島と岡山で交互に開催していたが、各県の会員が参加できるよう、今回より 2 年目理事の下で開催することとなった。参加者数は従前を上回った。

各報告を受けた後、「ソーシャルキャピタルの醸成ができる保健師の育成」をテーマにグループワークを行った。「業務をこなすことに精一杯で地域を動かすような活動ができていない」「家族全体を支援していても、担当業務の終了と共に家族支援が途絶える」「県は業務分担であるため、ソーシャルキャピタルを醸成するという経験が難しい」「予防の視点が重要」「日頃から市町と保健所が情報交換することが大事」等、現場の課題や対策について活発に議論することができた。支部長会では各支部活動の報告等を行い、今後の活動につながる有意義な意見交換ができた。

5. 支部活動の特徴

- ・中国・四国ブロックは 9 県 1 市の 10 支部で構成され、年 2 回の支部長会を開催し、各支部活動の現状や課題について意見交換している。
- ・各支部の活動は、圏域を分けて研修会や座談会を行う、県や他の団体と共催で研修会を行う、

保健師活動の伝承のために映像記録や冊子を作成する、県独自の保健師活動指針を研修会で周知する、テーマを決めて会員限定の勉強会を開催する等、支部ごとに魅力ある活動に向けて取り組んでいる。

6. 委員・支部長

○理事	林 公子	香川県中讃保健福祉事務所保健対策第一課
理事	亀井 典子	広島県緩和ケア支援センター緩和ケア支援室
鳥取県	米原 祐子	鳥取県西部総合事務所福祉保健局健康支援課
島根県	天野 和子	島根県出雲保健所 心の健康支援課
岡山県	那須 淳子	岡山県保健福祉部保健福祉課 地域福祉・法人指導班
広島県	中居 真弓	福山市保健福祉局保健部こども発達支援センター
広島市	杉 直子	広島市西区厚生部健康長寿課
山口県	山崎 千鶴代	山口県男女共同参画相談センター
徳島県	藤原 里美	徳島県東部保健福祉局徳島保健所医療企画担当
香川県	池内 明子	高松市保健所保健対策課感染症対策室
愛媛県	檜垣 裕子	愛媛県中予保健所
高知県	川村 尚美	高知県中央西福祉保健所